

廣報



ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課 電話(018876) 代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

人 口 与 世 带

世帯数 **3,940** 世帯
 人口 **17,644** 人
 内訳 { 男女
 男 8,516 人
 女 9,128 人

住民登録調 (49年4月末日現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。



写真は子供みこしで村中をねり歩く山内子供会

5月5日は子供の日、そして町内の農村部は祭典でもあった青い空に白い雲、蕉風はるんでユラユラ泳ぐ「鯉のぼり」その下を青のしらんしはんてんに白鉢巻、「ワッショイ」のかけ声りくしく、子どもみこしは行く。

一見平和である。しかし毎年めぐってくるこの日に思うことがある。それは本当に現代の子供達はしあわせであろうかという疑問である。

衣食住に事欠かない物質面の豊かさは大部分の子どもはもっている。そして遊び道具も豊富である。しかし日本の貧困時代子供は遊びの中から創造の芽が育てられた。

子供は世相の鏡とされている。社会の急速な発展は、子供の非行も拡大している。非行の低年齢化への拡大はその背景が何であるかと七人の進行である。

子供に温い思いやりを

だれもがその弊害を強調しながらも、受験という重圧に振りまわされ押しつぶされていく。試験地獄を再現してやまないのは、学歴編重の社会を可とする人が多いからである。

ある女優が上野駅前で、3人の浮浪児の靴ひがき達に、夕食代をばすんだん、いわく「一生懸命頑張って立派な人になってや」その浮浪兎達、久しく忘れていた銀色のめしを前にして、一人の心の温かさに胸打うちれ大成を誓い合った。そして今、東大の医学部、会社社長、政治家秘書の三人それぞれ誓いを守った。その女優は26年振りに札状をもった。初めは当惑したが自分の小さな愛意の波紋に驚きうきしきりに泣いた。

すがすがしく心温まる話である。温い思いやりとそれを受け取る自律性で子どもは変っていく。今も通ずる話である。

をよせています。
全国から集った百二十名、選ば
れただけに優秀者ばかりです。
この中にあって決して引け目と
らぬ様七名の町出身者は意を新に
しています。

ものばかり、先日の馬鉢巻きは
睦立、施肥播種、覆土を 60a 二時
間に仕上げたのはにぎやか。でも
これが彩算^{イヌ}にのれるのが不
安がないと云けてはあります。

練習になり、又同町出身者として
グループ単位の交流が出来るとして
て。

第五次訓練生は期間も十月今まで
の七ヵ月間に短縮され、しかも今
まで練習を受けています。

細やかな作業費も切って見る

A black and white portrait photograph of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. He is looking slightly to his left.

^広報サロン

府はどの農産物よりも「こめ」優先政策をおおすめたが、それを反映して、日本の農村では津々浦々に開拓ブームが起つた。

その後、世の中が経済的に安定を取り戻してくると、国民の主食(米)に対する好みも次第に変化をみせはじめ、パンを主食とする人口が増えたり、米の味が取りさだされるようになつたり、生産過剰の米の価値と人気は下落の一途をたどる一方であります。

それまでのよう、目茶苦茶に増産する時代にビオドは打たれ、農家のフルコロも米による経済から、農業以外に収入の道を模索するようになります。米の過剰で、稼ぎを休んだり、東北北海道から、何十万人もの出稼せざ者が民族移動の様相を呈した事は、かつての農民史の中にも見い出す事はできないのであります。

増加や、自然現象のため、今度は、世界的に食糧事情が悪くなるだろうと、しきりに取りあげられるようになり、食糧を中心とする農村問題は、改めて検討を加えなければならぬ時期に来ていると思われます。

本町の農家人口は、ここ数年来平均一・三%の減少を続けておりました。年令別人口の構成割合は、十五才以下二〇・九%、十六才以下三〇・九%、十六才以上が八十九人(一・〇%)減少して、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合も、四十八年の五〇・五%が、四十九年は五〇%となっており、低下の傾向にあります。農家一戸当たりの人口も(四十八年一月末)四

◆農業就業人口／表②

六人以上が八人(一・一%)増加しています。

◆農家人口／表①

本町の農家人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表③

本町の農業就業人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農家数／表④

本町の農家数は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表⑤

本町の農業就業人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農家数／表⑥

本町の農家数は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表⑦

本町の農業就業人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農家数／表⑧

本町の農家数は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表⑨

本町の農業就業人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農家数／表⑩

本町の農家数は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表⑪

本町の農業就業人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農家数／表⑫

本町の農家数は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表⑬

本町の農業就業人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農家数／表⑭

本町の農家数は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表⑮

本町の農業就業人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農家数／表⑯

本町の農家数は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表⑰

本町の農業就業人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農家数／表⑱

本町の農家数は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表⑲

本町の農業就業人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農家数／表⑳

本町の農家数は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表㉑

本町の農業就業人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農家数／表㉒

本町の農家数は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表㉓

本町の農業就業人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農家数／表㉔

本町の農家数は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表㉕

本町の農業就業人口は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農家数／表㉖

本町の農家数は、ここ数年来

平成一・三%の減少を続けておりま

す。年令別人口の構成割合は、

十五才以下二〇・九%、十六才以

上三十六・六%となり、前年に比

て、八九九年となつています。

総人口に対する農家人口の割合

も、四十八年の五〇・五%が、四

十九年は五〇%となつております。

◆農業就業人口／表㉗

6月 こ々 収集日

| 町名 | 6 | 月 | | | |
|-------|----|----|----------------------|----|----|
| | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回 |
| 希望ヶ丘町 | 1 | 6 | 10 | 17 | 22 |
| 田 | 1 | 6 | 10 | 17 | 22 |
| 広ヶ野町 | 1 | 6 | 10 | 17 | 22 |
| 今 | 1 | 6 | 10 | 17 | 22 |
| 御藏町 | 1 | 6 | 10 | 17 | 22 |
| 小泡町 | 1 | 6 | 10 | 17 | 22 |
| 川原町 | 1 | 6 | 10 | 17 | 22 |
| 新 | 2 | 7 | 12 | 18 | 24 |
| 一番町 | 2 | 7 | 12 | 18 | 24 |
| 古川町 | 2 | 7 | 12 | 18 | 24 |
| 紀久栄町 | 2 | 7 | 12 | 18 | 24 |
| 中川原町 | 2 | 7 | 12 | 18 | 24 |
| 館 | 2 | 7 | 12 | 18 | 24 |
| 岩城町 | 2 | 7 | 12 | 18 | 24 |
| 榮地町 | 5 | 8 | 13 | 20 | 25 |
| 畑町 | 5 | 8 | 13 | 20 | 25 |
| 新畑町 | 5 | 8 | 13 | 20 | 25 |
| 矢場崎 | 5 | 8 | 13 | 20 | 25 |
| 仲町 | 4 | 11 | 15 | 19 | 26 |
| 長町 | 4 | 11 | 15 | 19 | 26 |
| 米沢町 | 4 | 11 | 15 | 19 | 26 |
| 笛館 | 4 | 11 | 15 | 19 | 26 |
| 昭辰町 | 4 | 11 | 15 | 19 | 26 |
| 富津内 | 14 | 29 | ①川等へゴミを捨ててください。 | | |
| 内川 | 14 | 29 | ②残飯類の水切りは必ず実行してください。 | | |
| 馬場町 | 14 | 29 | ③おやぢめなバッティ | | |
| 大川 | 13 | 28 | ④ひみつの花園 | | |
| 西瀬 | 13 | 28 | ⑤ライラックの木かげ | | |
| 馬川 | 13 | 28 | ⑥町からきた少女 | | |

- 1 廃棄物は袋、標榜のないものは収集されませんので必ずつけるようご協力下さい。
 2 廃棄物を直接投入する際は必ず焼却場へ前もって連絡してください。(電3958)
 3 廃棄物一箇の大さきはリソグ箱程度に定めておりまますから守ってください。
 4 廃棄物収集所には収集当日午前8時までに。以上の注意事項を守って下さい。

●町の福祉事業に役立てて下さいとの事です。どうもありがとうございました。

一、金 四〇〇円
 久保一閑 竹治
 (拾得金に対する褒賞金)
 一、学生服 上下 十二着
 (男子用) 新畑町 村上一

こんな私を先輩が單青の行事にさそってくれて、恐る恐る参加してみて本当にびっくりしました。と言るのは、みんな一人一人個性の違う人間が、その集団の中位置や立場によっても、その考え方、見方方が違うことを、お互いの気持ちをくみ共通の目標をもつて行動していることに、つくづく感心させられました。そして何一つ考え方を持つていなか無知な私にとって、これはどうも異なった場は他にありませんでした。

知りたい方は会長 荒川へ
 TEL 3903

ジフテリヤ三種混合の予防接種実施

このことについて、次の日程により三種混合の(追加)予防接種を実施しますから、かなづ受けたるようお知らせいたします。

五月三十日(木) 笠尾知
 五城日、面瀬地区
 午後一時半～二時半

①受取場所
 ②持参するもの
 印かん 母子健康手帳

乳幼児への牛乳等
 券の交付をしますのでお知らせ

ます。

△友情・恋愛

△青年と社会

△自己を育てる(津留宏)

△青年の性と結婚(宮川彰)

△危機と克服(藤原義彰)

△生活をゆたかに(加藤勝郎)

△美しいボリー(美空ひばり)

△愛の四少女(名犬ラッシー)

△風の中のボリー(アルブースの少女)

△三色すみれ(若草物語)

△家なき少女(アンクル・トム物語)

△愛と悲しみ(アーヴィングの妖精)

△世間体(吉田作全集)

△平直喜(藤原喜悦)

△世界少女名作全集(西平直喜)

△少女記者ベギー(藤原喜悦)

△子供物語(世界少女名作全集)

△村のセレナード(リリカル)

△おやぢめなバッティ(リリカル)

△ひみつの花園(リリカル)

△ライラックの木かげ(リリカル)

△子供の幸福(リリカル)

△おやぢめなバッティ(リリカル)